

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	送付 委員会名
30年 第10号	30.10.18	<p>精神障害者の保健福祉充実に関する陳情</p> <p>医療福祉費支給制度（マル福）については関係者の多大なご理解の下、精神保健福祉手帳1級保持者の新たな適用拡大が実現した。しかしながら、精神障害者とその家族及び地域社会が永年に渡って直面している課題についても、早期に且つ着実な解決を願い陳情書を提出する。</p> <p>については、陳情事項の実現に向けて関係機関への働きかけをお願いする。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 学生・学校職員及び保護者への精神疾患に関する啓発について</p> <p>思春期に発症することが多い統合失調症などの精神疾患（精神障害）に対する無理解と偏見は、就学期における教育機会が少ないことに起因している。この結果、体調不良が生じた場合、現場の教師・生徒本人が混乱をきたし、父兄への啓発の少なさも手伝って、適切に対処が出来ず、早期発見・早期治療につながらず、社会参加が遅れる大きな要因にもなっている。</p> <p>統合失調症などを正しく理解し、実践的な対応を手助けする教育プログラムの作成に際しては、組織活動の効果を高めるためにも当事者の生活実態を把握している茨城県精神保健福祉会連合会も参加させること。</p> <p>なお、現在使用中の「学習指導要領」、「学校保健・学校安全管理の手引き」、「特別支援学校活用ガイドブック」などの教材及び活用方法について、茨城県精神保健福祉会連合会との意見交換も実施すること。</p>	<p>一般社団法人 茨城県精神保健福祉会連合会 会長 古池 源造</p>	<p>文教警察</p>